

文 部 大 臣  
森 喜 朗 殿日 本 学 術 会 議 会 長  
塚 田 裕 三昭和60年度科学研究振興に必要な予算について  
(申入れ)

標記について、日本学術会議第638回運営審議会の議決に基づき、下記のとおり申し入れます。

## 記

本会議は、従来から政府に対し科学研究の振興に関して勧告を行っているが、なかでも、科学研究振興のための国家予算の一層の拡充とその体系の整備の緊要性について力説してきた。また、文部省所管の科学研究振興費、特に科学研究費補助金は、我が国の学問、とりわけ基礎科学の発展に果たしている役割並びに科学者の同補助金に対する期待が極めて大きいものであるところにかんがみ、その大幅な増額を毎年強く要望してきたところである。

これに対し、貴省はじめ関係方面の配慮により、科学研究振興に必要な経費は着々と増額をみ、科学研究費補助金総額は、昭和59年度において405億円に達している。それにもかかわらず、この予算総額は当該年度の申請総額1,742億円からみても、なお極めて不十分である。

我が国は産業・経済・社会・文化の各般にわたって今や大きな転換期を迎えており、独創的かつ先見性のある科学技術の研究開発を推進することが焦眉の急となっている。このような独創の芽を育てる基盤としての基礎的研究の状況を考察すると、マイナスシーリングの制約下に、研究者は困難な条件の下で研究を続けている。また、国際的にみても科学の振興を図ることは、一時もゆるがせにすることはできないから、独創的な科学者をバックアップできるような科学研究費補助金の大幅な増額を切望したい。

本会議としても、現下の財政事情は十分理解するところではあるが、昭和60年度においては、総額を下表のとおりとすることを適当と認めたので、その実現方を強く要望する。

なお、特に以下の点について配慮されるよう希望する。

- 1 一般研究の重要性にかんがみ、当該研究費の大幅増額に特に配慮されたい。
- 2 特別研究については、すべて研究計画の年限を明示した時限研究とすることが望ましい。
- 3 国際研究協力の重要性にかんがみ、科学研究費補助金についても、それに対応できるよう配慮されたい。

(単位：億円)

科学研究費補助金の研究種目名	申入額
科学研究費	806
特別推進研究	—
特別研究	65
特定研究	75
総合研究	59
一般研究	432
奨励研究	67
試験研究	95
海外学術調査	13
特別研究促進費	—
研究成果刊行費	19
合計	825